

大阪府に寄せられたご意見（2022年2月分）の概要

府民文化部 府政情報室 広報広聴課 広聴グループ

総件数・内訳

2022年2月分1,934件(うち署名344件) 受付期間:2022年2月1日から2022年2月28日まで

<参考>前年同月:3,853件(うち署名2,107件)

2020年度計:119,903件(署名含む)、36,478件(署名除く)

【ご意見の内訳】

○府政に関する意見	1,613件
○所管外	235件
○その他(趣旨不明等)	86件
計	1,934件

【公表・対応分】

○連絡をしたもの	5件
----------	----

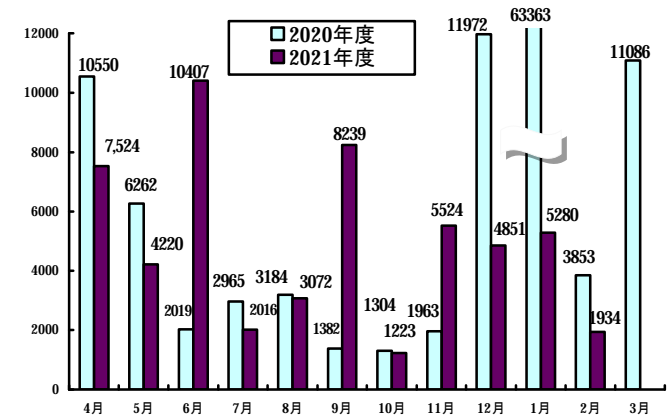
【府政に関する意見(主なもの)】※署名含む

(1) 感染症対策に関するもの	1,128件
(2) 経営支援に関するもの	119件
(3) 大阪マラソンに関するもの	43件
(4) 教育施策に関するもの	24件
(5) 万国博覧会(大阪・関西万博)に関するもの	11件

【受付部署別件数】※署名含む

・府民お問合せセンター	1,447件
・府政情報室	483件
・各所属 (所属内訳)	4件
政策企画部・万博推進局・	1件
IR推進局・都市整備部	

【件数の推移】※署名含む



個別施策の主なご意見

【感染症対策に関するもの】

- ・府民の命、暮らし、福祉、医療、中小業者の経営を守ることを最優先にした予算を求める。(署名344件)
- ・最近、飲食店等ではなく家庭内での感染が多いため、飲食店等への営業時間短縮要請は必要ないのではないかと科学的な根拠も示さずに経済を止めるべきではないので、今後、まん延防止等重点措置の期間延長や緊急事態宣言の発出を国に要請しないでほしい。
- ・このまま感染者が増え病床が埋まってしまうと、救急患者の対応もできず、助かる命も助けられなくなってしまふ。大阪府は、現状を受けとめ、早急に緊急事態宣言を国へ要請すべき。
- ・ワクチン接種会場だけを増やしても、接種券発送が遅い付いていないので、接種率は上がらないと思う。2回目の接種券を持参すれば接種できるようにしてほしい。
- ・ホテル療養者の食事に、1食500円もかかっているとは思えない。業者に任せたまにするのではなく、大阪府の担当者が確認することが必要だ。

【経営支援に関するもの】

- ・営業時間短縮協力金について、大型な店舗に対して協力金が支給されるのは納得ができるが、小さな店舗にも同様の協力金が支給されるのはおかしいと思う。また、感染拡大によって困窮しているのは飲食店だけではないため、本当に生活に困っている人たちにこそ支給すべき。

【大阪マラソンに関するもの】

- ・大阪マラソンを中止せず、参加者には検査で陰性を確認したうえで参加させようとしている。これだけ感染がまん延している中にもかかわらず強行に実施しなければならないのかと疑問に思う。現在、検査キットが不足していると聞かれたため、大阪マラソンを中止し、大会に使用する検査キットは本当に必要な人に回すなどの検討をすべき。

ご意見の取扱い

大阪府に寄せられたご意見は、今後の府政運営の参考にさせていただきます。このうち、制度や府の考え方の説明が必要と判断したものなどは、適宜ご本人に連絡を取るなどして回答(5件)しました。回答内容については、「[府政へのご意見](#)」ホームページに掲載しています。

また、府以外の官公庁に関するご意見については、国(87件)、市町村(84件)にそれぞれ内容をお伝えしました。

なお、これらの件数については、2月以前に大阪府に寄せられたご意見も含め、2月中にご本人への回答や官公庁への伝達を行った件数です。